



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 河野 純平
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6824-6440

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,178	3.1	513	18.8	518	19.3	327	24.1
2022年12月期第3四半期	4,052	2.4	631	15.3	641	14.8	431	14.0

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 333百万円 (24.4%) 2022年12月期第3四半期 440百万円 (14.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	33.92	
2022年12月期第3四半期	44.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	6,182	5,300	85.7	550.17
2022年12月期	5,967	5,160	86.5	534.25

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 5,300百万円 2022年12月期 5,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		18.50	18.50
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				18.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	4.1	670	18.9	670	19.8	434	26.1	44.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 有 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	10,242,000 株	2022年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	607,305 株	2022年12月期	582,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	9,655,300 株	2022年12月期3Q	9,659,695 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の各種行動制限の緩和、訪日外国人観光客の受入の本格的な再開などにより、社会経済活動の正常化が進み、国内経済活動の回復基調が続いております。一方で、世界経済では米国・欧州での景気下振れリスク、国内では物価上昇継続や円安傾向への転換などの不安要素があり、依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のもと、当社事業と関連性が高い証券市場においては、2022年12月の日銀による金利政策変更の発表等を受け日経平均株価が一時急落する局面もありましたが、2023年9月末には31,000円台まで上昇しております。また投資信託市場においては、公募投資信託の純資産額は増加傾向にあり、その本数も2023年3月から増加傾向に転じております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,178百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は513百万円（前年同期比18.8%減）となりました。また、経常利益は518百万円（前年同期比19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は327百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

ネット証券会社に提供している個人投資家向けコンテンツ開発は堅調に推移するとともに、証券レポート作成システムの新規案件を獲得することにより売上が増加しました。連結子会社である株式会社キャピタル・アイとアイフィス・インベストメント・マネジメント株式会社の業績も順調に推移しております。

その結果、売上高は1,083百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益は455百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・配送サービスの受注が好調に推移し、また、連結子会社である株式会社東京ロジプロの配送サービスについては、昨年からの取り組んできた構造改革の成果に加え、受注も好調に転じ売上で大きく業績に寄与しております。一方で、企業向け確定拠出年金関連ソリューションサービスについては、開発案件のスケジューリングが想定より後ろ倒しとなっており、前年同期比では減収減益となっております。

その結果、売上高は1,478百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は190百万円（前年同期比24.5%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額は、株価上昇の影響により年初比で増加しておりますが、印刷部数の減少傾向は継続しており、WEB/動画制作、投資信託関連資料類の受発注管理ソリューションの拡大に注力しておりますが、印刷受注量の減少分を埋めるには至りませんでした。

その結果、売上高は971百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は177百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、前年同期比でほぼ同水準でありましたが、システム開発会社からの業務委託形態での受注が大幅な増加となりました。

外注費や販売費及び一般管理費などのコスト削減の効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は644百万円（前年同期比18.8%増）、営業利益は70百万円（前年同期比41.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ214百万円増加し、6,182百万円となりました。

流動資産合計は117百万円増加し、5,562百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が40百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は97百万円増加し、619百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が75百万円増加し、投資その他の資産が43百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し、881百万円となりました。

流動負債は53百万円増加し、780百万円となりました。主な要因は、買掛金が25百万円増加したことによるものであります。

固定負債は20百万円増加し、100百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ140百万円増加し、5,300百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益327百万円の計上による増加と、剰余金の配当178百万円による減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日公表の2023年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,907,218	4,882,463
受取手形、売掛金及び契約資産	492,068	532,283
その他	45,942	147,700
流動資産合計	5,445,228	5,562,447
固定資産		
有形固定資産	51,143	126,599
無形固定資産		
のれん	130,412	104,330
ソフトウェア	114,613	100,558
ソフトウェア仮勘定	—	19,058
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	246,496	225,417
投資その他の資産	224,739	267,748
固定資産合計	522,379	619,765
資産合計	5,967,608	6,182,212
負債の部		
流動負債		
買掛金	185,839	211,627
未払法人税等	161,056	33,751
賞与引当金	19,358	66,555
その他	360,304	468,615
流動負債合計	726,559	780,549
固定負債		
退職給付に係る負債	25,617	27,344
その他	54,664	73,516
固定負債合計	80,282	100,861
負債合計	806,841	881,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,399,186	4,548,039
自己株式	△77,975	△92,600
株主資本合計	5,142,031	5,276,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△140	27
為替換算調整勘定	18,875	24,514
その他の包括利益累計額合計	18,735	24,542
純資産合計	5,160,766	5,300,801
負債純資産合計	5,967,608	6,182,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,052,125	4,178,325
売上原価	2,317,569	2,404,750
売上総利益	1,734,555	1,773,574
販売費及び一般管理費	1,102,709	1,260,361
営業利益	631,846	513,213
営業外収益		
受取利息	418	36
受取配当金	195	157
持分法による投資利益	1,470	664
為替差益	7,555	2,691
確定拠出年金返還金	—	1,297
その他	522	249
営業外収益合計	10,161	5,096
営業外費用		
その他	61	41
営業外費用合計	61	41
経常利益	641,946	518,268
特別損失		
固定資産除却損	0	1,840
本社移転費用	—	18,348
その他	—	79
特別損失合計	0	20,268
税金等調整前四半期純利益	641,946	498,000
法人税、住民税及び事業税	221,314	153,448
法人税等調整額	△11,148	16,994
法人税等合計	210,165	170,443
四半期純利益	431,781	327,557
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,781	327,557

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	431,781	327,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	167
持分法適用会社に対する持分相当額	8,903	5,639
その他の包括利益合計	9,066	5,807
四半期包括利益	440,847	333,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,847	333,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

第2四半期連結会計期間において、本社を移転することに伴って利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。また、不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務に係る資産除去債務について、原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は33,803千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	—	1,277,168	948,960	—	—	2,226,128	—	2,226,128
WEBサービス	971,507	—	—	—	—	971,507	—	971,507
受託開発	66,653	209,749	35,100	89,491	—	400,993	—	400,993
その他	—	—	—	453,496	—	453,496	—	453,496
外部顧客への売上高	1,038,160	1,486,917	984,060	542,987	—	4,052,125	—	4,052,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,250	4,902	—	63,419	—	70,571	△70,571	—
計	1,040,410	1,491,819	984,060	606,406	—	4,122,696	△70,571	4,052,125
セグメント利益	437,186	252,356	184,985	49,957	—	924,486	△292,640	631,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△292,640千円には、セグメント間取引消去△874千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△291,765千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ イスクロー ジャー事業	I T ソリ ューショ ン事業				
売上高								
ドキュメント	—	1,358,217	961,072	—	—	2,319,289	—	2,319,289
WEBサービス	1,008,825	—	—	—	—	1,008,825	—	1,008,825
受託開発	75,139	120,145	10,123	100,758	—	306,165	—	306,165
その他	—	—	—	544,045	—	544,045	—	544,045
外部顧客への売上高	1,083,964	1,478,362	971,195	644,804	—	4,178,325	—	4,178,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,267	9,583	—	54,407	—	66,258	△66,258	—
計	1,086,232	1,487,946	971,195	699,211	—	4,244,584	△66,258	4,178,325
セグメント利益	455,629	190,451	177,085	70,442	—	893,609	△380,395	513,213

(注) 1. セグメント利益の調整額△380,395千円には、セグメント間取引消去△754千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△379,640千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。